

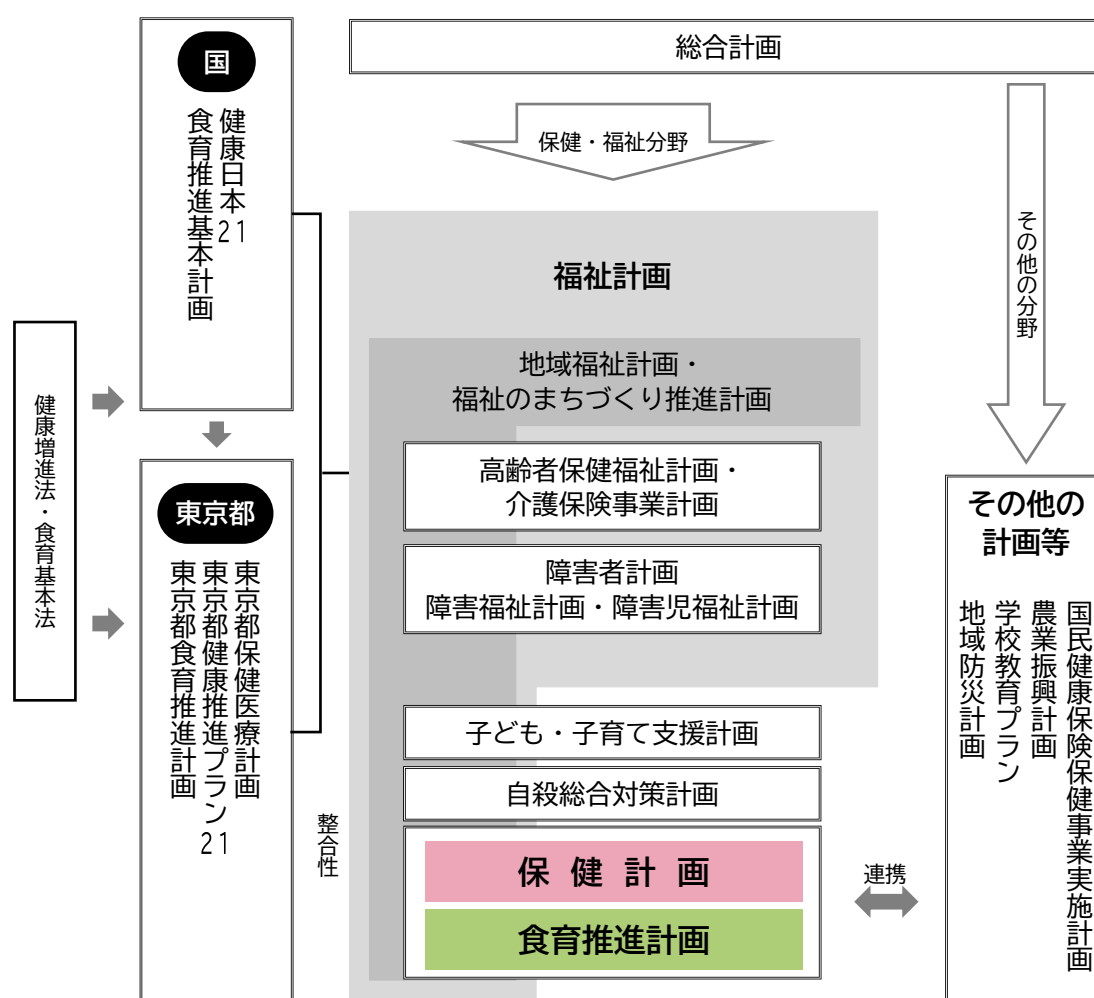
第 1 編

計画の概要

1 計画の位置付け

第3次保健計画は、健康増進法第8条第2項に規定される市町村健康増進計画として、第3次食育推進計画は、食育基本法第18条に規定される市町村食育推進計画として位置付けています。

本市の総合計画及び福祉計画を上位計画とし、保健・福祉分野の個別計画（地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画等）、その他の分野の計画等との整合・連携を図ります。



2 計画期間

第3次府中市保健計画（第3次健康ふちゅう21）と第3次府中市食育推進計画（以下「第3次保健・食育推進計画」といいます。）は、令和3年度から令和8年度までの6年間を計画期間とします。目標の達成状況や社会情勢の変化等に応じて見直しを行い、効果的な施策を展開していきます。

	平成					令和							
	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31/1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	
総合計画	第6次総合計画							第7次総合計画(仮)					
福祉計画	福祉計画							福祉計画					
【地域福祉分野】	地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画							地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画					
【高齢者福祉分野】	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）				高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期）		高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第8期）		高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）				
【障害者福祉分野】	障害者計画							障害者計画					
	障害福祉計画（第4期）		障害福祉計画（第5期） 障害児福祉計画（第1期）			障害福祉計画（第6期） 障害児福祉計画（第2期）		障害福祉計画（第7期） 障害児福祉計画（第3期）					
【子ども・子育て支援】	子ども・子育て支援計画					第2次子ども・子育て支援計画				第3次子ども・子育て支援計画			
【健康分野】						自殺総合対策計画				第2次自殺総合対策計画			
	第2次保健計画					第3次保健計画							
	第2次食育推進計画					第3次食育推進計画							

3 計画の策定体制と手続

(1) 府中市保健計画・食育推進計画推進協議会

第3次保健・食育推進計画を策定するに当たり、学識経験者を始め、社会福祉、医療、商工、農業、健康増進・介護予防における関係団体、行政職員、公募による市民により構成した府中市保健計画・食育推進計画推進協議会を設置しました。

また、第3次保健・食育推進計画の策定後においては、同協議会で進捗状況の確認と取組状況等の情報交換を行い、第3次保健・食育推進計画の施策を着実に推進します。

(2) 市民アンケート調査の実施

第3次保健・食育推進計画の策定に当たり、市民の健康・食育に関する実態を把握するため、令和元年9月に、市内在住の18歳以上の市民の中から無作為に抽出した21,300人を対象に、「健康と安全・安心な暮らし」に関する市民アンケート調査（以下「市民アンケート調査」といいます。）を実施しました。

回収したアンケートは、性別、世代別（若年者：18～39歳、中年者：40～64歳、高齢者：65歳以上）の項目毎の集計・分析及び前回調査（平成27年度）との比較分析を行いました。

(3) パブリックコメント手続の実施

第3次保健・食育推進計画の策定に当たり、パブリックコメント手続（令和2年11月24日から12月23日まで）を実施しました。

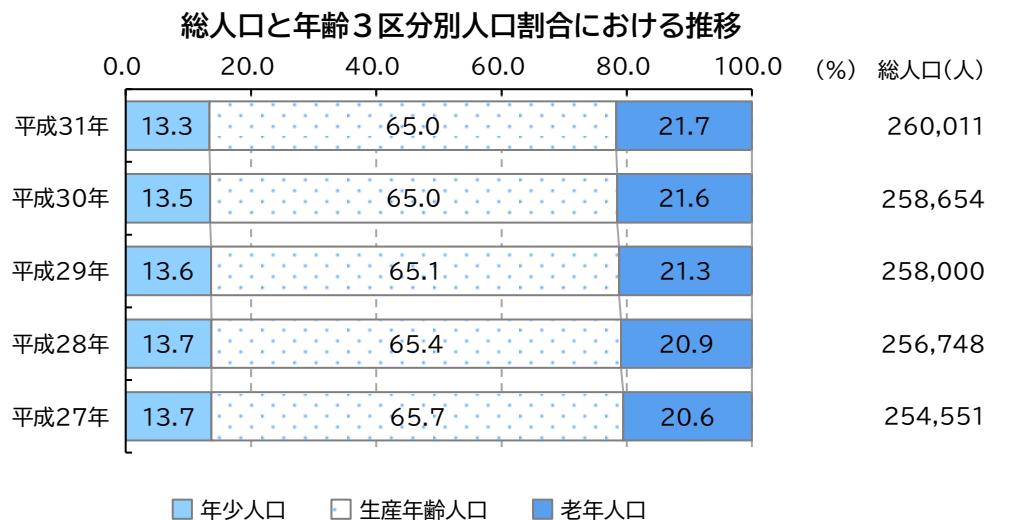
4 市の人口特性と健康に関する現状

(1) 人口

①総人口と年齢3区分別人口割合

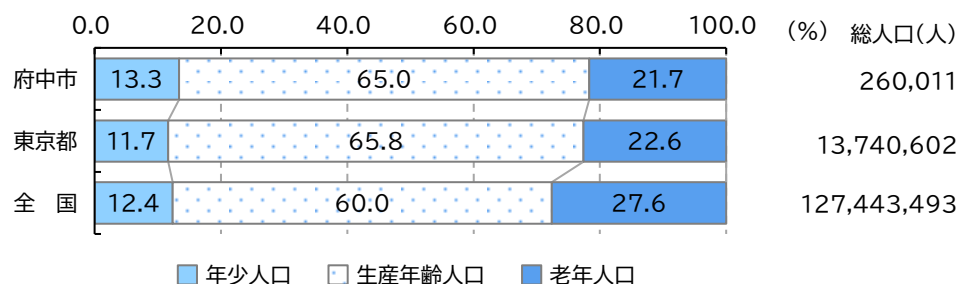
総人口は、年々増加しており、平成31年では260,011人となっています。

年齢3区分別人口割合を見ると、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）は、それぞれほぼ横ばいで推移しており、全国・東京都と比較すると、年少人口は高く、老年人口は低くなっています。



【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（各年1月1日現在）」

平成31年の年齢3区分別人口割合における全国・東京都との比較



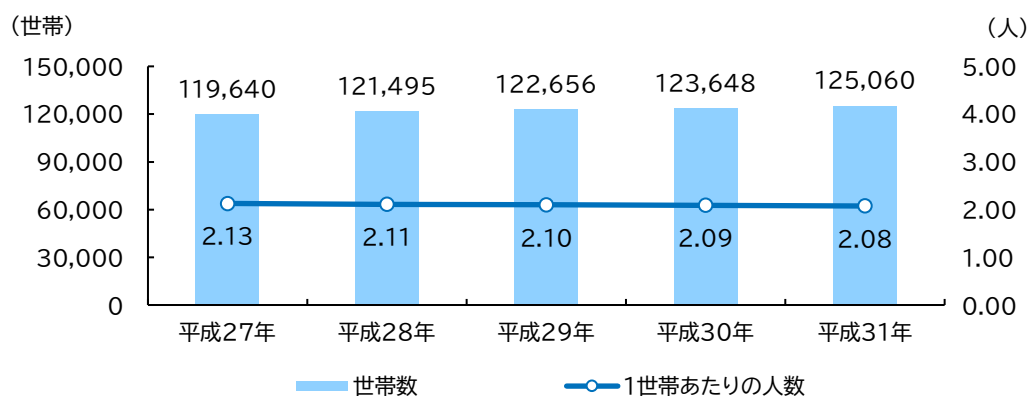
【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成31年1月1日現在）」

(2) 世帯

①世帯数と1世帯あたりの人数

世帯数は、年々増加している一方、1世帯あたりの人数は微減傾向が見られます。

世帯数及び1世帯あたりの人数における推移

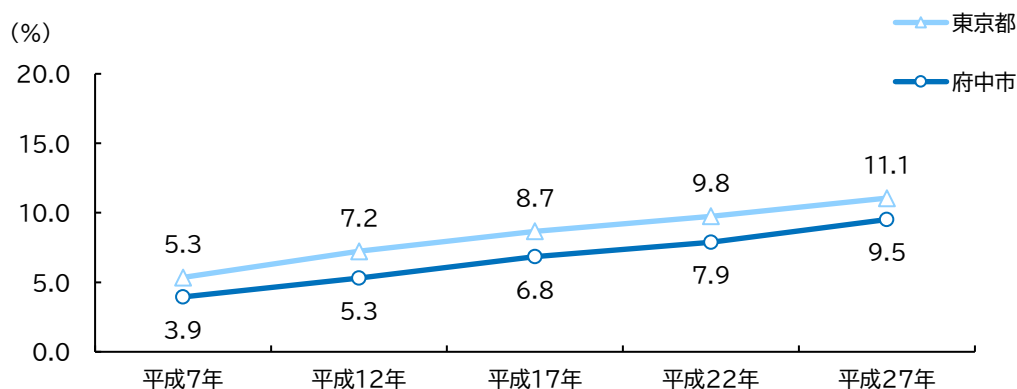


【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（各年1月1日現在）」

②65歳以上単独世帯数割合

65歳以上単独世帯数が占める割合を見ると、増加傾向にありますが、東京都と比較すると低く推移しています。

65歳以上単独世帯数が占める割合の推移における東京都との比較



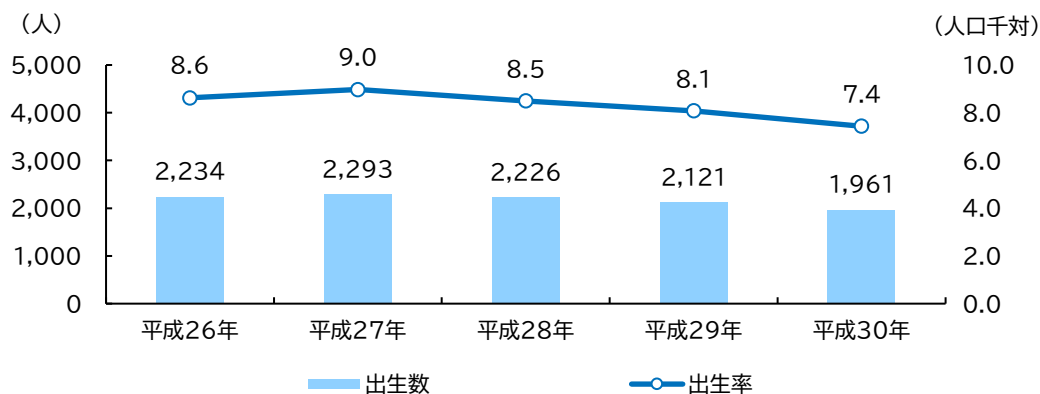
【出典】総務省「国勢調査」

(3) 出生

①出生数と出生率

出生数と出生率は、平成27年から年々減少しており、平成30年では出生数が1,961人、出生率が7.4となっています。

出生数と出生率（人口千対）の推移

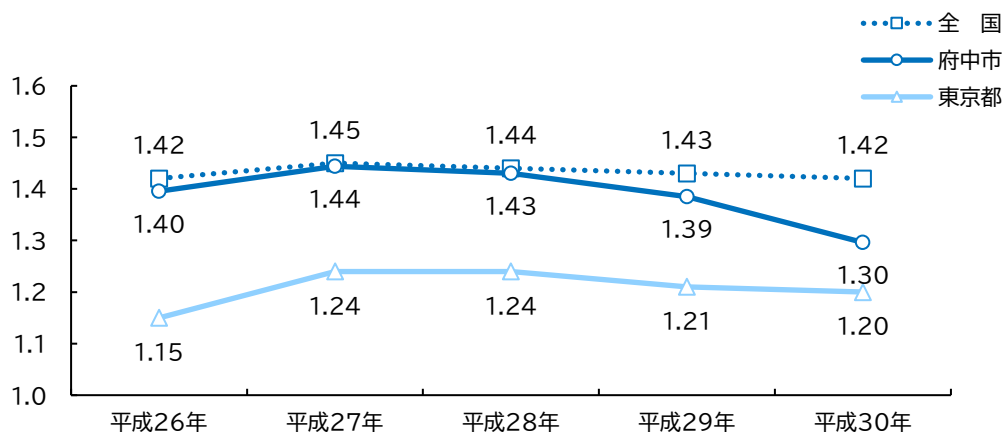


【出典】東京都「人口動態統計」

②合計特殊出生率

合計特殊出生率は、平成27年から年々減少しており、平成30年では1.30となっています。東京都と比べると高く推移していますが、全国と比べると低く推移しています。

合計特殊出生率の推移における全国・東京都との比較



【出典】厚生労働省「人口動態調査」、東京都「人口動態統計」

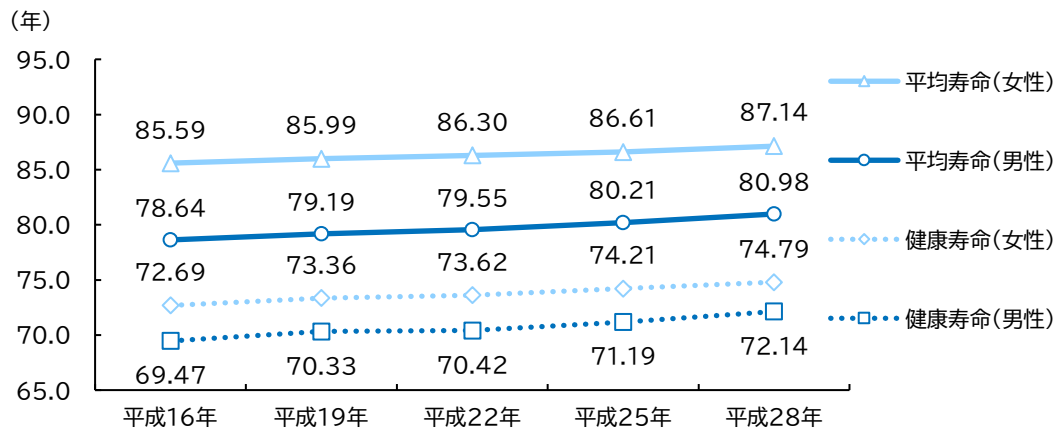
(4) 平均寿命と健康寿命

①平均寿命と健康寿命

平均寿命と健康寿命は、平成 16 年から平成 28 年までにかけて、それぞれ伸びています。

平成 28 年において、平均寿命は男性が 80.98 年、女性が 87.14 年となっており、健康寿命は男性が 72.14 年、女性が 74.79 年となっています。

平均寿命と健康寿命の推移

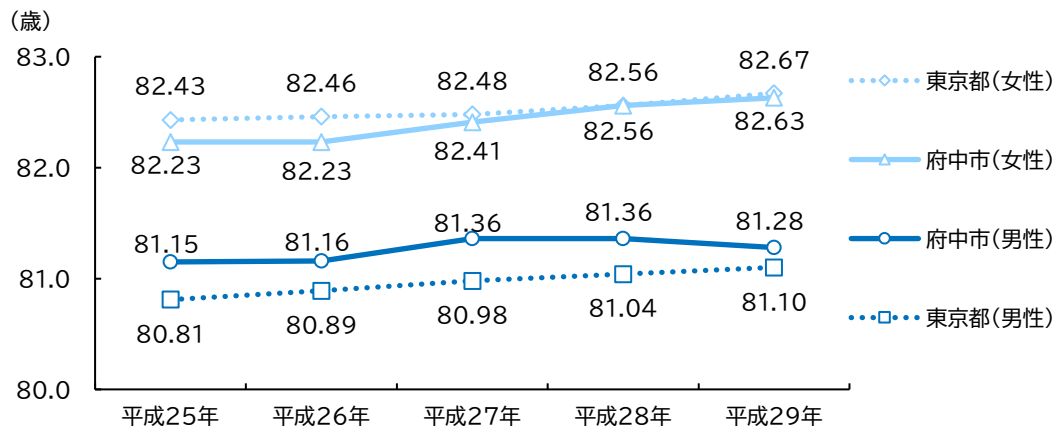


【出典】平均寿命は厚生労働省「簡易生命表・完全生命表」、健康寿命は「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究・第 11 回健康日本 21（第二次）推進専門委員会資料」

②65 歳健康寿命

65 歳健康寿命（要支援 1 以上）を見ると、平成 29 年では府中市の男性が 81.28 歳、女性が 82.63 歳となっています。東京都と比べると、男性は毎年高く推移していますが、女性は平成 27 年からほぼ同じ水準で推移しています。

65 歳健康寿命（要支援 1 以上）の推移における東京都との比較



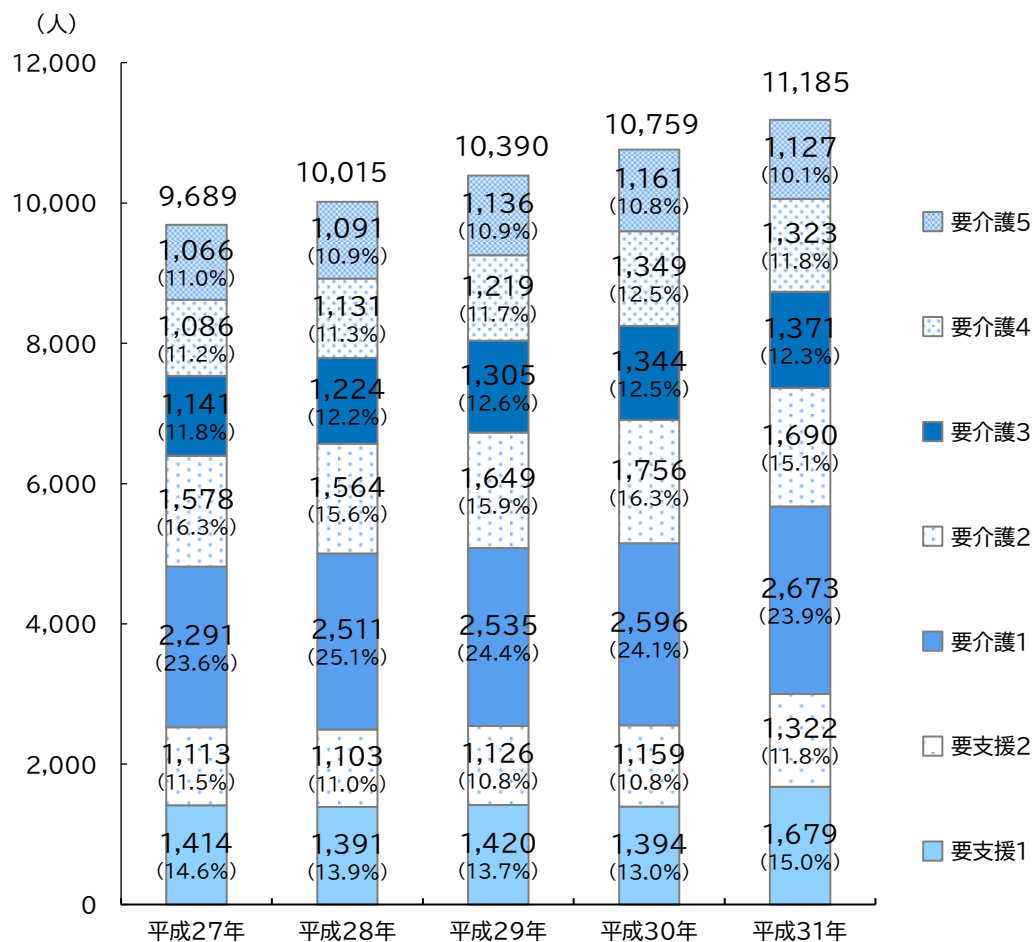
【出典】東京都「都内各区市町村の 65 歳健康寿命」

(5) 要介護認定者

① 要介護認定者数と構成比

65歳以上の要介護認定者数を見ると、年々増加しており、平成31年は11,185人となっています。平成31年について、要介護1から要介護5を合計した要介護の認定者数は8,184人となり、全体の約4分の3（73.2%）を占めています。この割合は、平成27年から平成30年までは上昇しましたが、平成31年は減少しています。

65歳以上の要介護認定者数の推移



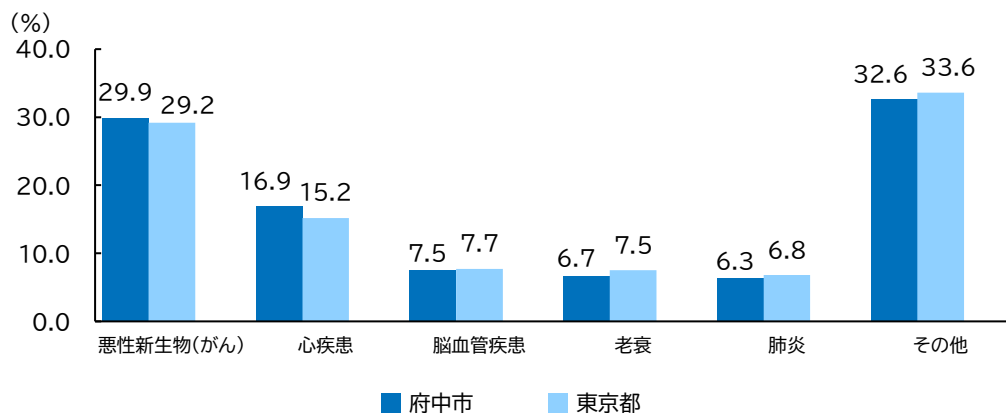
【出典】府中市「統計書」

(6) 主要死因と自殺統計

①主要死因別死亡割合

主要死因別死亡割合を見ると、悪性新生物（がん）（29.9％）が最も高く、次いで心疾患（16.9％）、脳血管疾患（7.5％）、老衰（6.7％）、肺炎（6.3％）となっています。東京都と比較すると、心疾患は1ポイント以上高くなっています。

平成 29 年の主要死因別死亡割合における東京都との比較



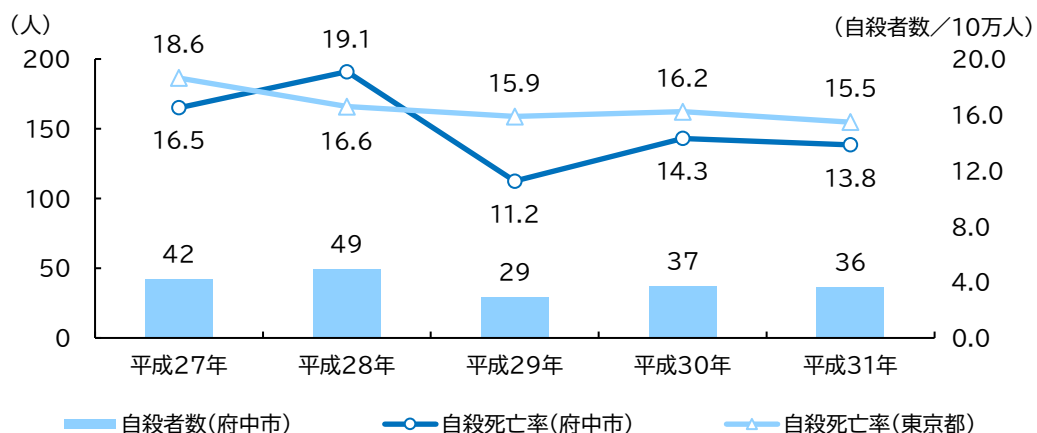
【出典】東京都「人口動態統計」

②自殺者数と自殺死亡率

自殺者数は、平成 27 年と平成 28 年が 40 人台であり、平成 29 年に 29 人に減少し、平成 30 年以降は 30 人台となっています。

自殺死亡率を東京都と比較すると、平成 28 年を除いて低く推移しており、平成 31 年は 13.8 となっています。

自殺者数と自殺死亡率の推移における東京都との比較



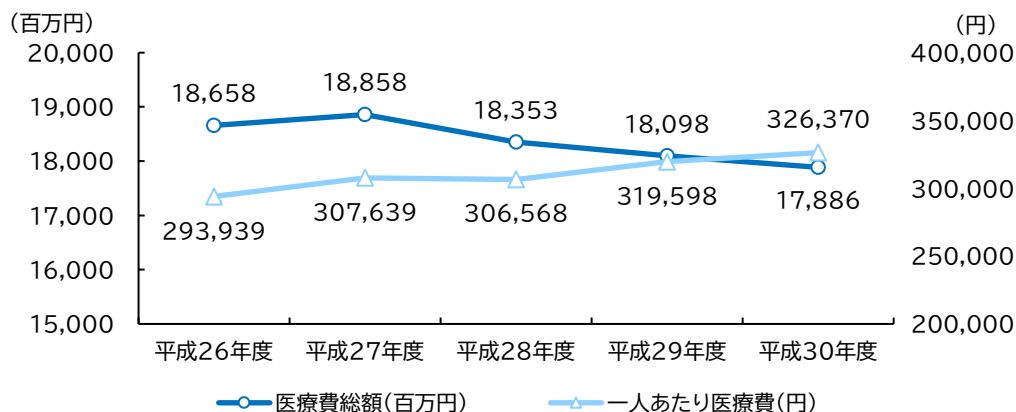
【出典】厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

(7) 国民健康保険における医療費と被保険者数

①医療費

医療費は、平成27年度から年々減少しており、平成30年度では178億8600万円となっています。一方、一人あたり医療費は、平成26年度の293,939円と比較すると、平成30年度は326,370円と3万円以上高くなっています。

国民健康保険における医療費総額と一人あたり医療費の推移



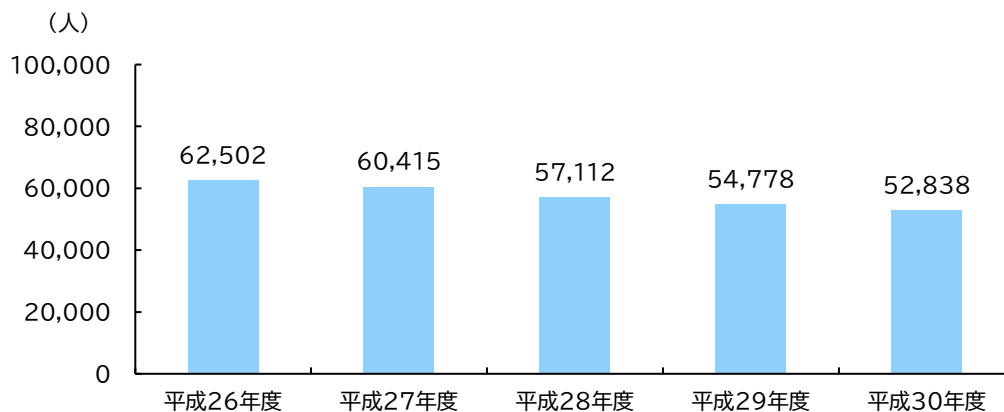
注) 上記医療費は保険適用分の調剤を含む診療に係る費用(10割分)を指す。

【出典】府中市「保険年金課資料」

②被保険者数

被保険者数は、平成26年度から年々減少しており、平成30年度では52,838人となっています。

国民健康保険における被保険者数の推移



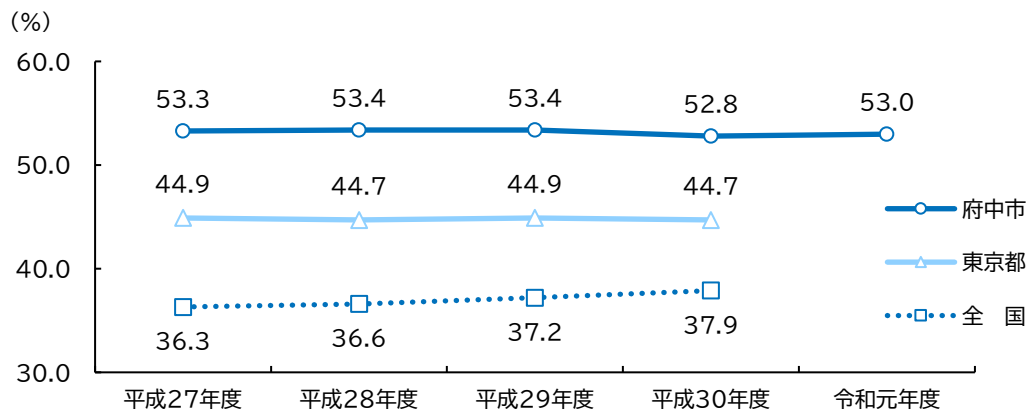
【出典】府中市「施策の成果」

(8) 特定健康診査と特定保健指導の状況

① 特定健康診査の受診率

特定健康診査の受診率は、53%前後を横ばいで推移しています。全国・東京都と比較すると、高い水準で推移しています。

特定健康診査の受診率の推移における全国・東京都との比較

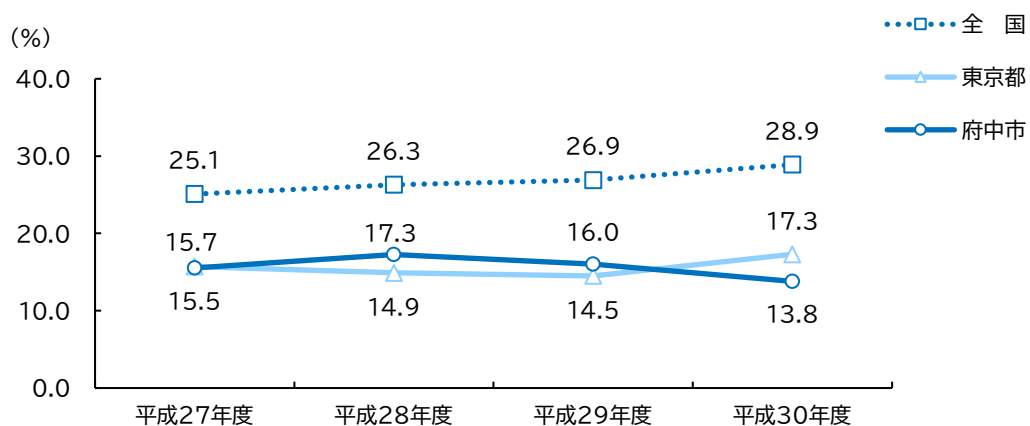


【出典】府中市「保険年金課資料」

② 特定保健指導の実施率

特定保健指導の実施率は、平成30年度が13.8%となっています。全国及び東京都と比べると低くなっています。

特定保健指導の実施率の推移における全国・東京都との比較



【出典】府中市「保険年金課資料」

(9) がん統計

①がん検診の受診率

がん検診の受診率について全体を見ると、平成27年度から平成30年度まで、胃がん、肺がん、大腸がんは東京都と比較して低く推移しています。一方、子宮頸がんは東京都とほぼ同じ水準を推移しており、乳がんは高く推移しています。

がん検診受診率の推移における東京都との比較

種類	区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
胃がん	府中市	全体	4.9 %	5.1 %	4.8 %	8.2 %	4.7 %
		男性	4.1 %	4.6 %	4.9 %	8.6 %	4.7 %
		女性	5.8 %	5.5 %	4.8 %	7.9 %	4.7 %
	東京都	全体	6.7 %	9.2 %	9.2 %	10.2 %	- %
		男性	5.9 %	8.7 %	8.7 %	9.6 %	- %
		女性	7.4 %	9.7 %	9.6 %	10.8 %	- %
肺がん	府中市	全体	1.3 %	0.7 %	1.9 %	2.0 %	2.1 %
		男性	1.4 %	1.2 %	2.5 %	2.1 %	2.5 %
		女性	1.1 %	0.3 %	1.4 %	2.0 %	2.5 %
	東京都	全体	9.9 %	9.9 %	9.8 %	10.4 %	- %
		男性	8.5 %	8.5 %	8.4 %	8.9 %	- %
		女性	11.1 %	11.2 %	11.1 %	11.8 %	- %
大腸がん	府中市	全体	9.4 %	9.9 %	10.0 %	10.1 %	8.7 %
		男性	7.6 %	7.5 %	7.3 %	7.3 %	6.9 %
		女性	11.2 %	12.2 %	12.5 %	12.8 %	11.6 %
	東京都	全体	23.5 %	22.4 %	22.0 %	21.6 %	- %
		男性	18.8 %	17.9 %	17.6 %	17.4 %	- %
		女性	27.9 %	26.6 %	26.0 %	25.6 %	- %
子宮頸がん	府中市	女性	20.8 %	19.9 %	19.5 %	18.7 %	27.8 %
	東京都	女性	21.0 %	19.8 %	19.0 %	18.6 %	- %
乳がん	府中市	女性	29.4 %	30.2 %	30.3 %	28.8 %	18.1 %
	東京都	女性	21.5 %	21.6 %	20.8 %	20.3 %	- %

【出典】東京都「東京都がん検診精度管理評価事業」

②がん検診の精密検査受診率

がん検診の精密検査受診率について全体を見ると、平成 26 年度から平成 29 年度まで、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんのいずれにおいても、東京都と比較して高く推移しています。

がん検診精密検査受診率の推移における東京都との比較

種類	区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
胃がん	府中市	全体	83.6 %	96.0 %	94.8 %	92.4 %	95.7 %
		男性	85.1 %	95.2 %	92.5 %	90.1 %	94.5 %
		女性	80.4 %	97.4 %	98.9 %	97.3 %	97.5 %
	東京都	全体	72.0 %	73.0 %	72.7 %	73.1 %	- %
		男性	71.5 %	71.6 %	71.1 %	71.1 %	- %
		女性	72.5 %	74.5 %	74.6 %	75.5 %	- %
肺がん	府中市	全体	80.0 %	89.5 %	91.7 %	100.0 %	100.0 %
		男性	66.7 %	93.3 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %
		女性	100.0 %	75.0 %	50.0 %	100.0 %	100.0 %
	東京都	全体	62.0 %	70.2 %	67.0 %	71.5 %	- %
		男性	61.7 %	69.0 %	65.8 %	70.7 %	- %
		女性	62.8 %	71.4 %	68.1 %	72.3 %	- %
大腸がん	府中市	全体	79.2 %	78.9 %	81.4 %	74.7 %	92.5 %
		男性	80.5 %	76.2 %	76.3 %	80.8 %	93.0 %
		女性	78.1 %	81.0 %	84.9 %	70.2 %	92.5 %
	東京都	全体	50.0 %	56.8 %	53.3 %	56.1 %	- %
		男性	49.7 %	56.0 %	52.9 %	55.6 %	- %
		女性	50.2 %	57.4 %	53.7 %	56.5 %	- %
子宮頸がん	府中市	女性	78.9 %	78.8 %	82.6 %	82.8 %	97.0 %
	東京都	女性	58.8 %	65.8 %	71.1 %	67.6 %	- %
乳がん	府中市	女性	91.6 %	84.6 %	96.2 %	92.8 %	98.6 %
	東京都	女性	75.4 %	82.1 %	84.7 %	85.0 %	- %

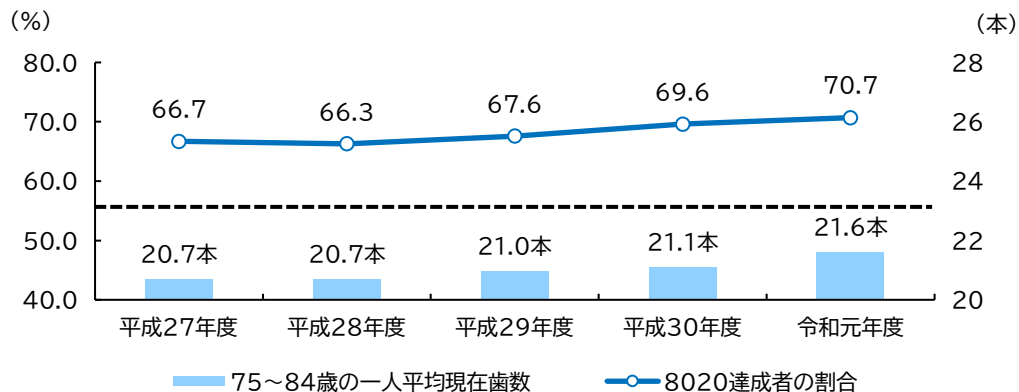
【出典】東京都「東京都がん検診精度管理評価事業」

(10) 歯科

① ハチマルニイマル 8020達成者と一人平均現在歯数

75～84歳の一人平均現在歯数は、20本を超えています。「80歳で20本の歯を有する者」の割合は、令和元年度では70.7%となり、年々増加しています。

8020達成者の割合と一人平均現在歯数の推移



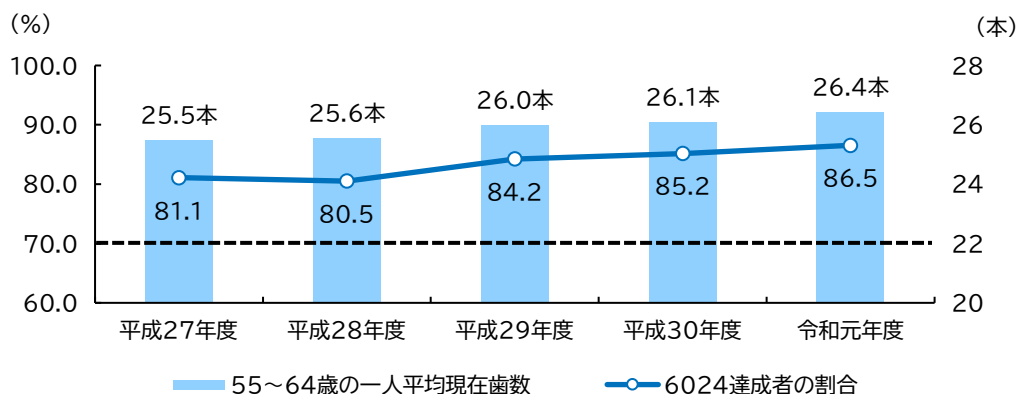
注) 黒い点線は平成26年度における東京都の割合（55.5%）を指し、東京都は増やすことを目標にしている。

【出典】府中市「府中市成人歯科健康診査資料」

② ロクマルニイヨン 6024達成者と一人平均現在歯数

55～64歳の一人平均現在歯数は24本を超えています。「60歳で24本の歯を有する者」の割合は、80%台で推移し、令和元年度では86.5%となっています。

6024達成者の割合と一人平均現在歯数の推移



注) 黒い点線は平成26年度における東京都の割合（70.0%）を指し、東京都は増やすことを目標にしている。

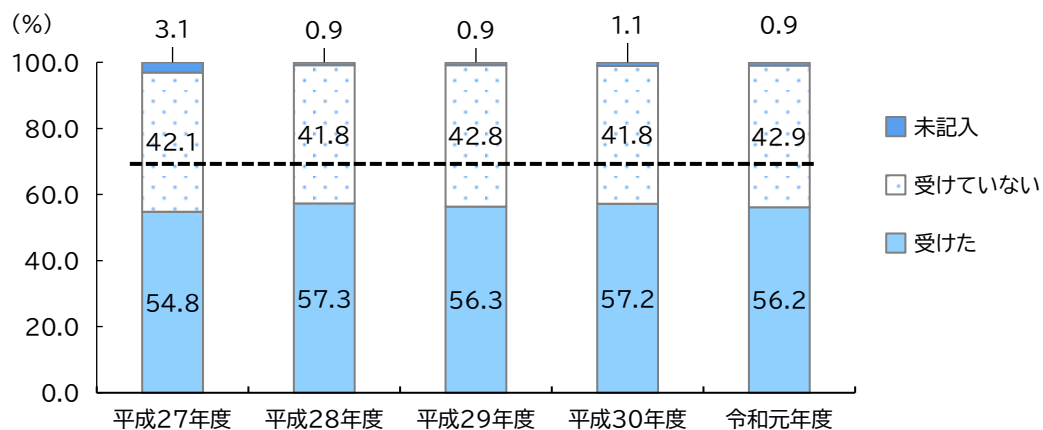
【出典】府中市「府中市成人歯科健康診査資料」

③歯の定期健診等の受診率

かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている人の割合について、20～64 歳を見ると、5 割台半ばで推移しており、令和元年度では 56.2%となっています。平成 26 年度における東京都の目標（70.0%）は下回っています。

一方、65 歳以上を見ると、7 割台半ばで推移しており、令和元年度では 75.5%となっています。平成 26 年度における東京都の目標（70.0%）は達成しています。

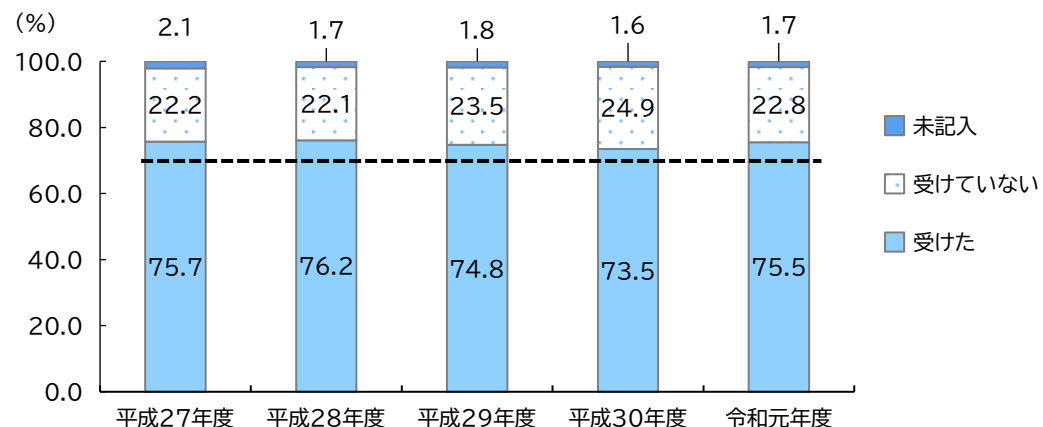
かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている人の割合の推移（20～64 歳）



注）黒い点線は平成 26 年度における東京都の目標（70.0%）を指している。

【出典】府中市「府中市成人歯科健康診査資料」

かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている人の割合の推移（65 歳以上）



注）黒い点線は平成 26 年度における東京都の目標（70.0%）を指している。

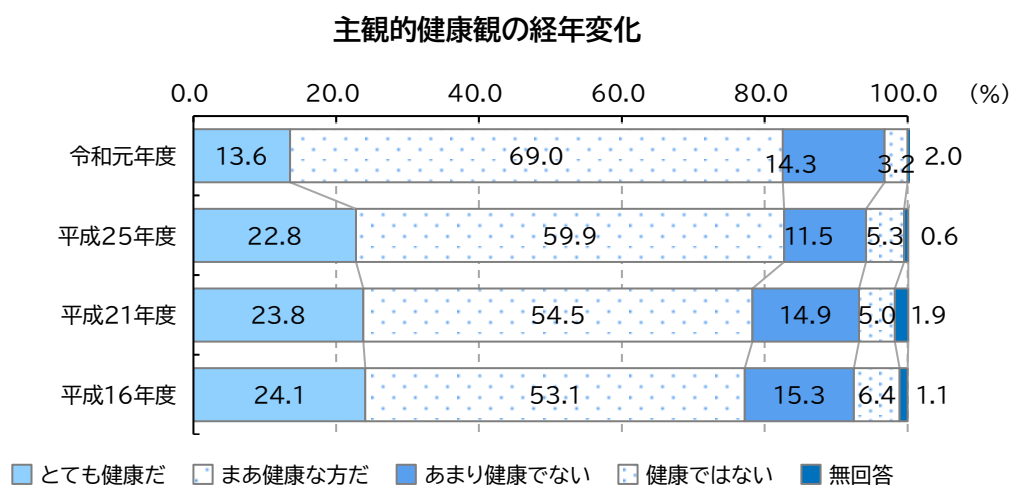
【出典】府中市「府中市成人歯科健康診査資料」

(11) 主観的健康観

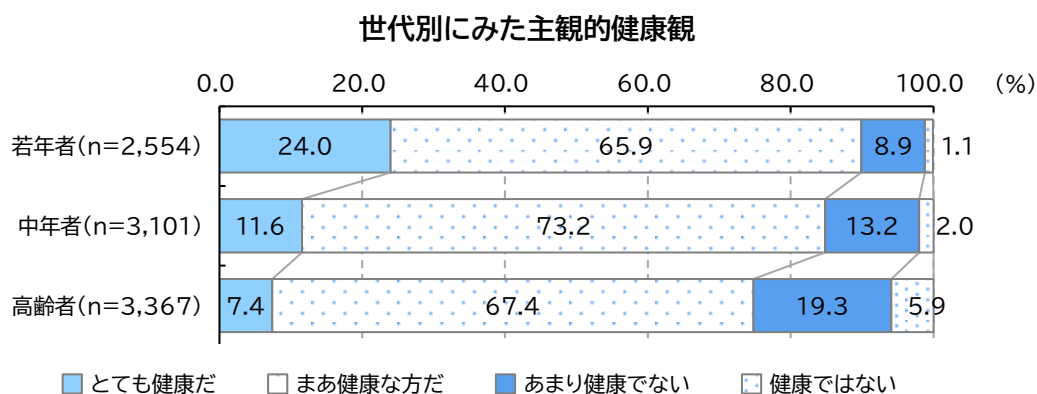
①主観的健康観

自分の健康状態について、健康だと回答した人の割合（「とても健康だ」と「まあ健康な方だ」の合計）は82.6%となっており、平成25年度と同様8割を超えています。また、「とても健康だ」の割合を見ると、13.6%となっており、過去の調査と比較すると割合は低くなっています。

世代別に健康だと回答した人の割合を見ると、若年者が89.9%、中年者が84.8%、高齢者が74.8%となっており、年齢が上がるにつれて割合は下がっています。



【出典】府中市『健康と安全・安心な暮らし』に関する市民アンケート調査



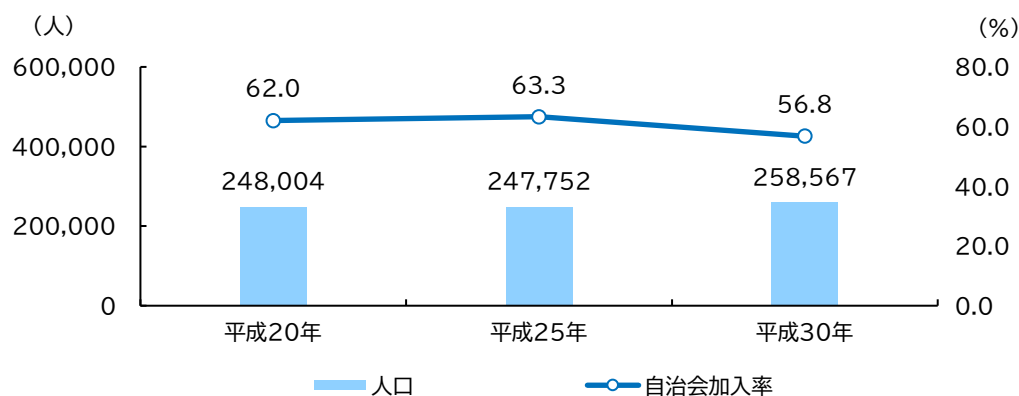
【出典】府中市「令和元年度『健康と安全・安心な暮らし』に関する市民アンケート調査」

(12) 地域とのつながり

①自治会加入率

自治会加入率は、平成20年の62.0%から平成25年の63.3%へと増加したものの、平成30年の56.8%へと減少しています。

自治会加入率の推移



【出典】府中市「事務報告書」

②市民活動センタープラッツの登録団体数

府中市市民活動センタープラッツの登録団体数を見ると、「学術、文化、芸術又はスポーツの振興」が180団体と最も多く、次いで「保健、医療又は福祉の増進」が95団体、「子どもの健全育成」が72団体となっています。

令和元年度の府中市市民活動センタープラッツの登録団体数

No.	主な活動分野	登録団体数
1	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	180
2	保健、医療又は福祉の増進	95
3	子どもの健全育成	72
4	社会教育の推進	41
5	まちづくりの推進	33
6	人権の擁護又は平和の推進	12
7	環境の保全	11
8	国際協力の活動	8
9	男女共同参画社会の形成の促進	6
10	連絡、助言又は援助の活動	6
11	その他	22
計		486

【出典】府中市「協働推進課資料」

(13) 新型コロナウイルス感染症について

世界各国で流行が確認されている「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」は、令和2年2月1日をもって、感染症法上の「指定感染症」に位置付けられました。潜伏期間は季節性インフルエンザより長く、軽症で済むことが多いものの、重症化の例や死亡例も確認されているウイルスです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年4月16日には全都道府県を対象に、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づいた緊急事態宣言が発令されました。それにより感染拡大防止策として、外出の自粛や在宅勤務が推奨され、私たちの生活は大きく変化しました。そして、緊急事態宣言解除後も、従来の生活では考慮しなかったような場においても感染予防のため、飛沫感染や接触感染、更には近距離での会話への対策をこれまで以上に取り入れた「新しい生活様式」を実践していくことになりました。このような変化やこの生活がいつまで続くのか先行きが見えない現状、今後起こり得る健康課題についても柔軟に対応する必要があります。

新型コロナウイルス感染症発生による健康課題

